

令和4年度 相談支援従事者指導者養成研修

相談支援体制の充実・強化に向けた 都道府県の取組実践 (長野県)

長野県健康福祉部

障がい者支援課 共生社会推進係 堀内 祐希

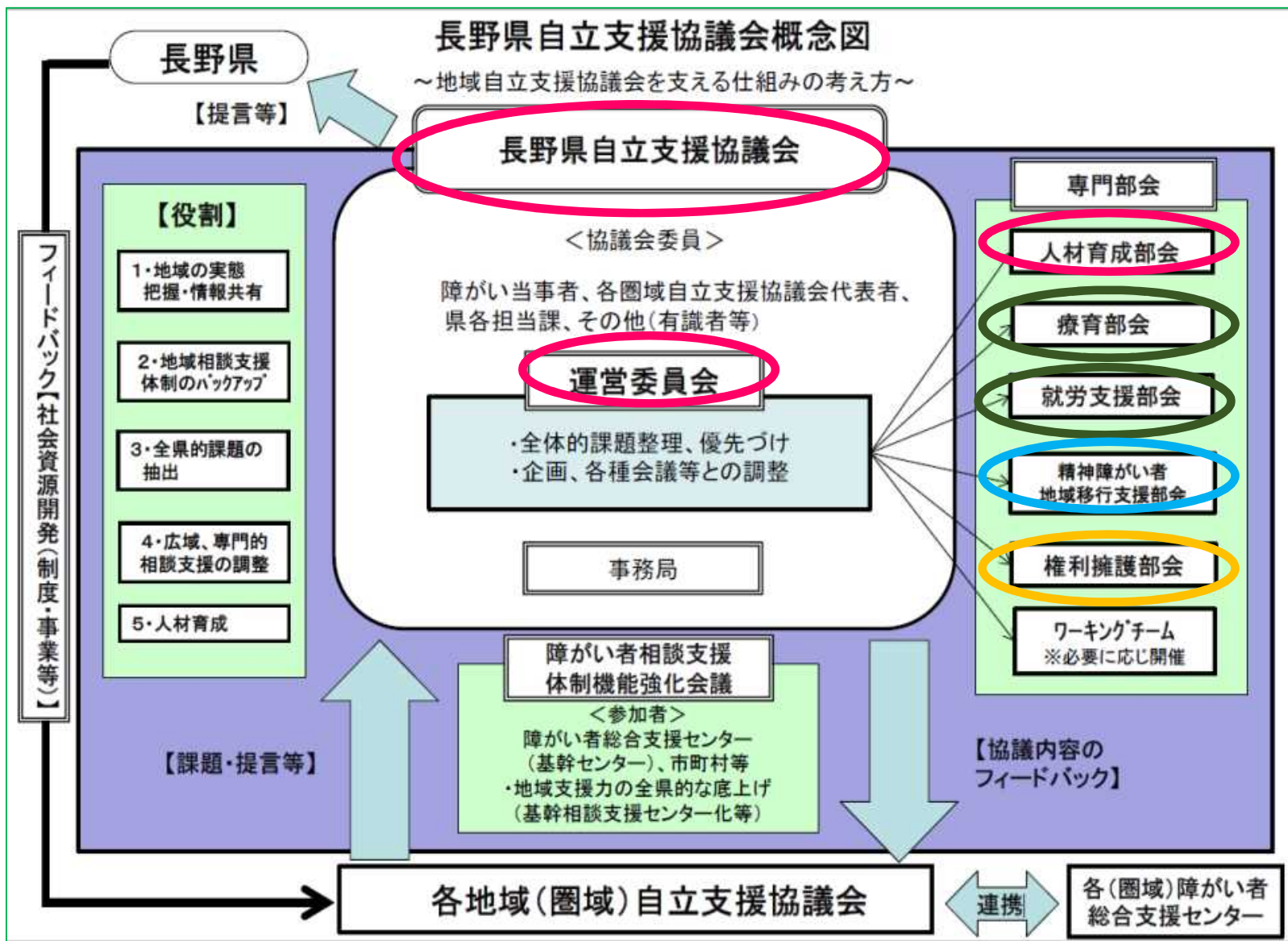
相談支援体制の充実・強化に向けた取組

① 県自立支援協議会

地域(自立支援)協議会

長野県自立支援協議会

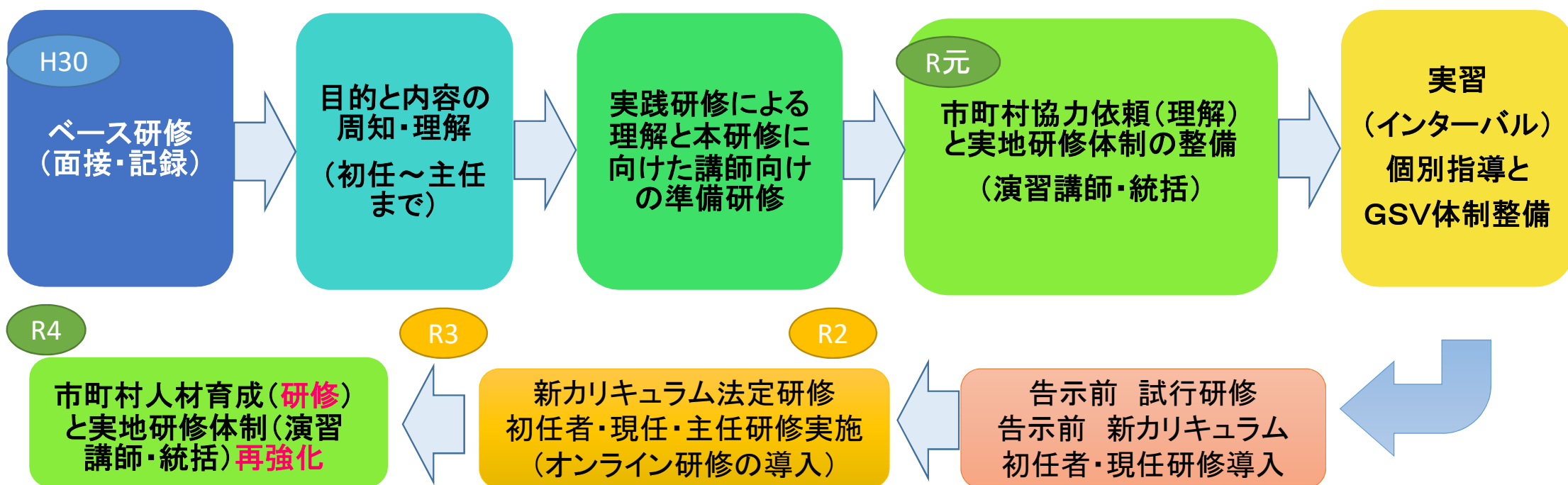




相談支援体制の充実・強化に向けた取組

② 相談支援従事者研修

質の向上に向けた人材育成体(実習体制とOJT体制)の準備経過



新カリキュラムの目的・内容の理解・周知と事前準備

【統括チーム】

- ・新カリキュラムの内容確認
- ・モデル研修資料の作り込み



【検討コア委員会】

- ・新カリキュラムの概要及び、目的の理解
- ・内容の共有、理解
- ・ニーズ整理票の使用法

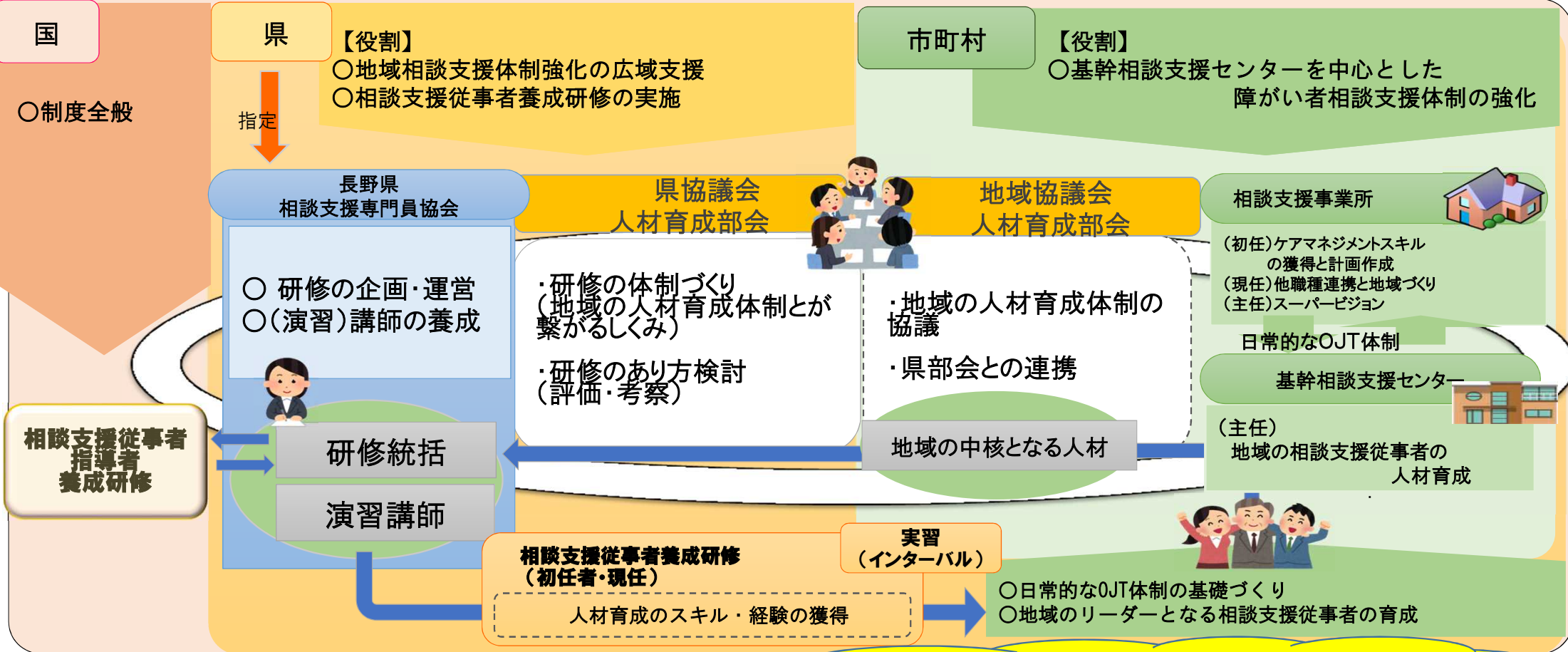
【モデル研修ガイダンス】

- ・新カリキュラムの概要説明
- ・ニーズ整理票の実践研修
- ・演習講師養成研修にむけて

【演習講師 養成研修カリキュラム】

- ① ファシリテーター基礎研修
- ② 新カリキュラムの概要説明及び演習講師の役割について(講義)
現任研修の構造と獲得目標(講義)
主任相談支援専門員の役割(講義)
※上記は、令和4年度新たな導入テーマ
- ③ 実習(インターバル)実践Ⅰ
ニーズ整理票の作成演習
- ④ 新ニーズ整理票を用いたGSV実践演習
- ⑤ 実習(インターバル)実践Ⅱ
実習(インターバル) ロールプレイ
(個別SVの実践とポイント)
- ⑥ 計画を用いたGSV実践演習

相談支援従事者養成研修(演習)講師の育成と地域の人材育成の関係



なぜ、新カリキュラムに移行するの??

市町村、地域協議会、基幹相談支援センター等に趣旨を説明

相談支援従事者(リーダー)の育成 = 障がい者相談支援体制の基盤の強化

研修前は...

何で告示前に新カリ?

インターバルって何?

演習講師とFTって違うの?

何で地域が協力しなきゃいけないの?

市町村がやる必要がある?

予算は?

研修期間が長すぎる!

そもそもの中身が見えない!!



終わってみると...

受講生

- ・とても分かりやすかった!
- ・インターバルで、分からないことを聞いて良かった
- ・相談できる場所を知れて良かった
- ・元気がでた・仲間ができた
- ・自分の計画を褒めてもらえて自身がついた...など

市町村・演習講師

- ・告示前に実践出来て良かった
- ・やってみると、インターバルや地域のOJTの重要性が理解できた
- ・自分自身の学びにもなった
- ・地域ごとにGWが出来たことで、実践モデルとなった
- ・演習講師としてのスキルを
しっかり身に付けないといけないと思った

実践のためのポイント

- ・新カリキュラムの概要、目的の共有、周知方法
⇒ 統括を中心とした研修カリキュラムの作り込みと伝達の工夫
- ・市町村、地域(協議会等含め)の理解・協力を得るための準備と工夫
⇒ 人材育成ビジョンの活用・協議会を活用した体制整備
- ・演習講師の選出基準の明確化 ⇒ 基幹相談支援センター・委託相談支援事業所 等

相談支援体制の充実・強化に向けた取組

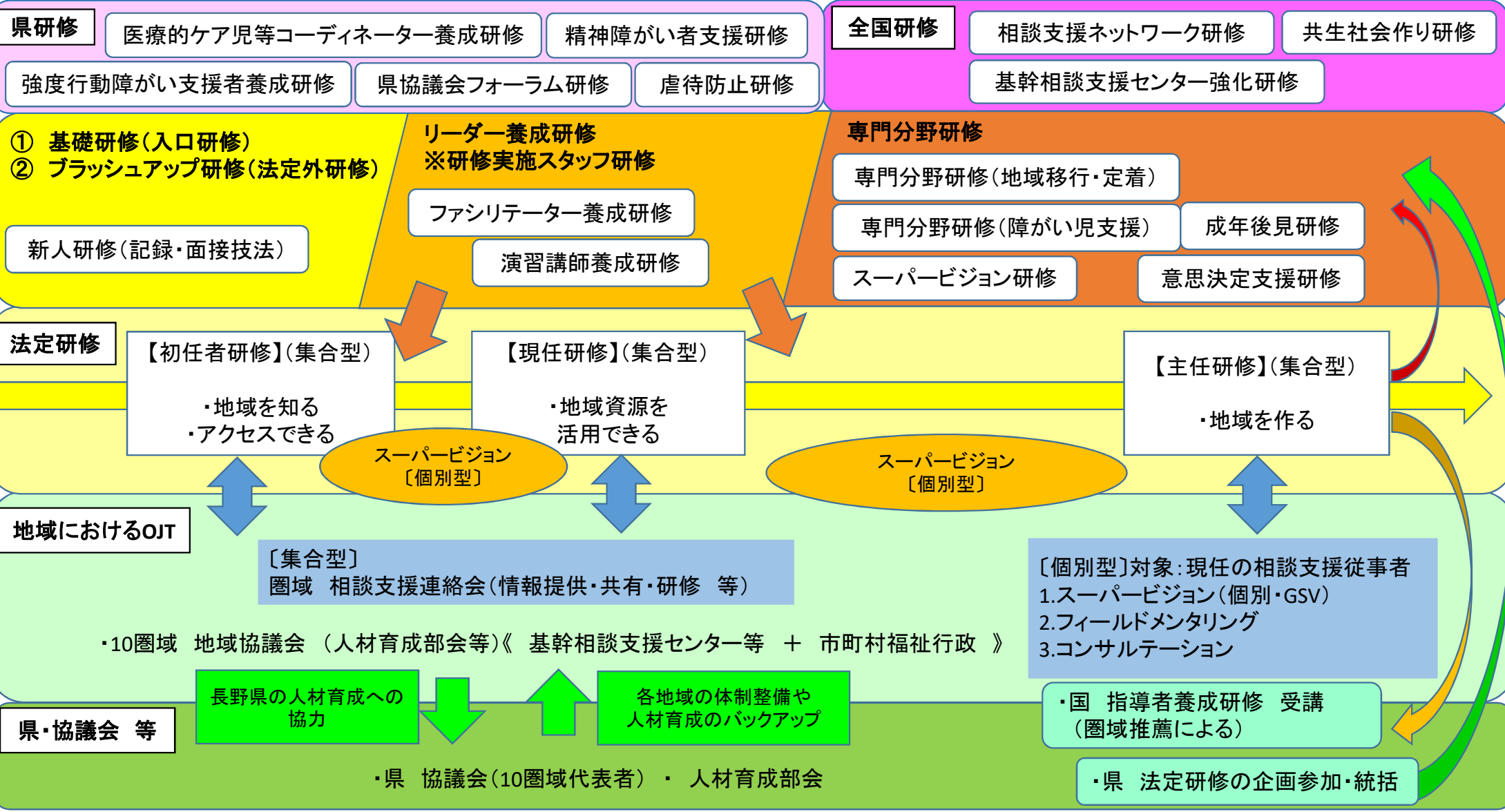
③ 人材育成ビジョン

長野県障がい者相談支援従事者
人材ビジョン（Ver.2）



長野県PRキャラクター「アルクマ」
© 長野県アルクマ

2 地域における相談支援従事者(相談支援専門員)の育成体制



解説文

- ①研修体系は法定研修をベースとした各時期に、受講を期待するスキルアップするための各種研修を示している。
- ②人材育成には集合研修（OFF-JT）と日々の実践での研修（OJT）の双方が必要であることから、法定研修およびスキルアップするための実地教育（地域で実施するOJT研修）の環境を整え、人材育成を図ることが必要である。
- ③そのため、相談支援の質の向上には、相談支援専門員をはじめとする相談支援従事者のスキルアップと相談支援の体制整備の両面が必要となる。
- ④主任相談支援専門員は、相談支援現任者に対する人材育成（スーパービジョン・メンタリング）及び地域作り（協議会を活用した多職種連携による資源改善・開発）と法定研修及びスキルアップするための各種研修の企画・運営を担う役割を果たす人材の育成を目指している。
- ⑤長野県における人材育成体制は、長野県全体での取組（長野県内の障害福祉サービス事業者の各種研修への協力）と各地域での取組（各市町村の相談支援体制の整備と実地教育へのバックアップ）が協働することが重要となる。
- ⑥相談支援専門員をはじめとする相談支援従事者は、全国研修等に計画的に参加し、国の動向や地域づくりに関する情報を受け取り、相談支援の質の向上に向けた体制の整備を行っていくことが必要である。

3 国・県の養成研修と地域の人材育成の関係

	国	長野県	市町村	基幹相談支援センター等
組織・団体	厚生労働省	県 県自立支援協議会（人材育成部会）	市町村・障がい福祉圏域 地域自立支援協議会（人材育成部会等）	基幹相談支援センター 障がい者相談支援事業 等
役割	研修制度全般 （策定、周知、養成）	全県の相談支援体制の強化 （障がい福祉計画等の作成・進捗管理） 相談支援専門員の養成 サービス管理責任者等の養成	地域の相談支援体制の強化 （障がい福祉計画等の作成・進捗管理） ・相談支援事業者に対する専門的助言指導 ・相談支援事業者の人材育成のための支援 ・地域の相談支援機関と連携強化の取組	地域の相談支援体制の強化 （障がい福祉計画等の推進に向けた行政等との連携）
具体的な内容	基本方針策定 （障がい福祉計画等） 指導者養成研修の実施	相談支援体制強化に向けた後方支援 障害福祉計画の推進 ・県自立支援協議会による協議 ・地域協議会（部会）との連携 各種養成研修の実施 ・企画運営、体制づくり（地域連携） ・指導者養成研修参加者の推薦 ・研修の評価・考察 ・人材育成ビジョン作成	相談支援体制強化に向けた取組 障害福祉計画の推進に向けた協議 ・地域自立支援協議会による協議 ・県協議会（部会）との連携 ・基幹相談支援センター、障がい者相談支援事業、相談支援事業所の役割整理等 ・主任相談支援専門員の活用	相談支援体制強化に向けた取組 ・地域自立支援協議会事務局（人材育成部会等の運営） ・相談支援事業所へのアウトリーチ等 ・相談支援専門員連絡会等の企画運営 ・多職種等連携システムの構築 ・全国、県研修への参加によるスキルアップ
法定研修で担う役割				
相談支援専門員	相談支援従事者指導者養成研修 （主任相談支援専門員研修含む）	相談支援従事者初任者研修 相談支援従事者現任研修 ・演習講師の養成 主任相談支援専門員養成研修	相談支援従事者養成研修における実地研修 の後方支援 ・地域資源情報等の提供等	相談支援従事者養成研修における実地研修 の実施 ・スーパービジョン等の実施 法定研修後のフォローアップ研修等
サービス管理責任者 児童発達支援管理責任者	サービス管理責任者・児童発達 支援管理責任者指導者養成研修	サービス管理責任者等基礎研修 サービス管理責任者等実践研修 サービス管理責任者等更新研修 ・ファシリテーターの養成		法定研修後のフォローアップ研修等

※障がい福祉計画等は、障がい福祉計画及び障がい児福祉計画をいう。

※サービス管理責任者等は、サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者をいう。

目的	<p>○相談支援専門員・主任相談支援専門員の育成 = 「地域の障がい者相談支援体制の基盤の強化」</p> <p>○サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の育成 = 「地域の障害福祉サービスの質の向上」</p> <p>⇒ニーズに基づく地域資源の充実（障害福祉計画等、地域生活支援拠点等の推進） = 「安心して暮らし続けることのできる地域づくり」</p>
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 相談支援専門員の役割と地域相談支援体制の強化

法定研修の獲得目標 (演習～実践に向けて)	事業所における役割	自立支援協議会における 役割	地域における役割	心構え
初任者研修了者 アセスメントとニーズ整理 (ニーズの根拠) スーパービジョン導入	<ul style="list-style-type: none"> 計画相談（障害児相談）の業務の理解・遂行 	<ul style="list-style-type: none"> 個別相談の課題から地域課題を認識 自立支援協議会の機能・役割の理解 		<ul style="list-style-type: none"> 基本相談支援の理解 障害者ケアマネジメントのスキル獲得 社会資源の把握
現任研修修了者 意思決定支援 チームアプローチ コミュニティワーク ストレングスモデルGSV	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援の基本を理解した実践の継続 チームアプローチ（多職種連携）の理解・実践 地域とのつながりやインフォーマルの活用等の理解・実践 	<ul style="list-style-type: none"> 個別相談の課題からの地域課題を共有 自立支援協議会の機能・役割の理解および参加 		<ul style="list-style-type: none"> 個別援助技術と地域援助技術の役割と繋がり理解 スーパービジョンの理論と方法の理解と研鑽の継続
主任研修修了者 (主任相談支援専門員) 人材育成 (法定研修の実習) (実地教育:地域におけるOJT) メンタリング:GSV・個別SV	指定特定相談支援事業所 指定障害児相談支援事業所 基幹相談支援センター 委託相談支援事業所	<ul style="list-style-type: none"> 基本相談支援を基盤としたサービス等利用計画についての実地教育の担い手 利用者中心による業務指針の推進 相談支援体制の強化と地域づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 個別相談の課題から地域課題を集約 自立支援協議会運営と地域課題の解消に向けた取組（実践） 地域（住民）や他分野の関係機関との関係構築と協力 法定研修における実習および地域におけるOJT体制整備に向けた取組 	<ul style="list-style-type: none"> 地域づくりや人材育成の推進 事業所や地域における指導的役割

(参考) 【上小】圏域(市)の法定研修の実習と実地教育体制

法定研修の実習体制 (人材育成専門部会)

1. 初任者研修

【ケアマネジメントの実践】

→基幹相談支援センターにアクセスし、個別SVにて対応(主任相談支援専門員が中心)

【社会資源調査】

→人材育成専門部会員(市町村・主任・基幹)を中心とした説明会及びグループワーク

2. 現任研修

【意思決定支援におけるSV】

→基幹相談支援センターにアクセスし、個別SVもしくはGSVにて対応(主任相談支援専門員が中心)

【(自立支援)協議会参加体験等】

→人材育成専門部会員(市町村・主任・基幹)を中心としたワールドカフェ

※ 主任相談支援専門員(特定・基幹)の学習会を実施。

実地教育(OJT体制)

1. 基幹相談支援センターの役割

(基幹の主任の実践内容)

- ・相談支援OJT体制整備(企画・実践・スーパーバイザー)
- ・主任相談支援専門員(特定)に対するバイザー養成
- ・機能強化型事業所におけるGSV(各事業所月1回)
- ・指定相談支援事業所及び市町村担当者に対するSV
- ・人材育成専門部会 事務局
- ・法定研修における研修講師および演習講師
- ・法定研修(初任者・現任)に関する実習対応

2. 指定相談支援事業所の主任の役割

- ・相談支援OJT体制整備(企画・実践・スーパーバイザー)
- ・指定相談支援事業所に対するSV
- ・人材育成専門部会 部会員
- ・法定研修における演習講師
- ・法定研修(初任者・現任)に関する実習対応

相談支援体制の充実・強化に向けた取り組み

① 長野県自立支援協議会

- 地域の取り組みの困り感、行き詰まり感をすくうこと
方法：運営委員会の活動/部会の活動

② 相談支援従事者研修

- 新カリキュラムの意義の浸透を目指してきたこれまでの実践
- 指定事業者として、人材育成部会員になっている。
- 事業者の実施する研修企画会議に県担当が参加する。

③ 人材育成ビジョン(人材育成部会の成果)

- 目指す姿を共有していく取組

こんな景色を見るために、
今少し坂道を上っているのだとしたら、
その先が楽しくないはずがありませんね。

